

定期作況報告

平成23年10月
(10月20日現在)

北海道立総合研究機構 北見農業試験場

1. 気象経過

9月下旬：最高気温は平年並で、最低気温は平年より高く、平均気温は平年よりやや高かった。降水量は平年より極めて多かった（平年比307%）。日照時間は平年並であった（平年比105%）。

10月上旬：最高気温、最低気温、平均気温はともに平年より低く、2日に初霜が観測された。降水量は平年より少なかった（平年比55%）。日照時間は平年よりやや多かった（平年比122%）。

10月中旬：最高気温は平年よりやや高く、最低気温は平年よりやや低く、平均気温は平年並であった。降水量は平年より少なかった（平年比36%）。日照時間は平年よりやや多かった（平年比121%）。

以上のことから、この1か月間（9月下旬～10月中旬）は平年と比較して、気温、降水量、日照時間はともに平年並であった。

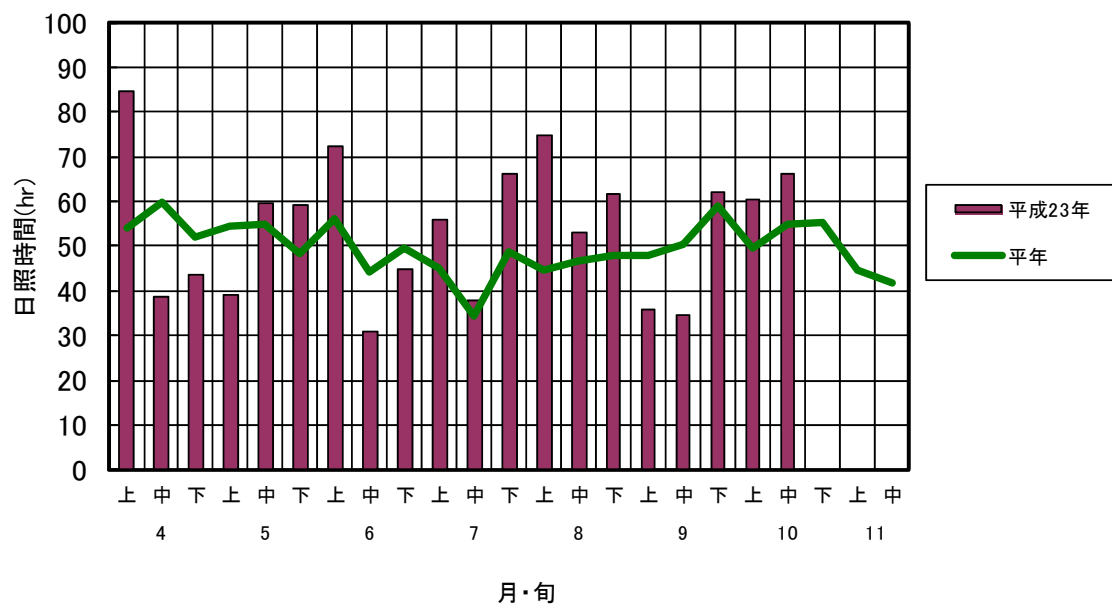
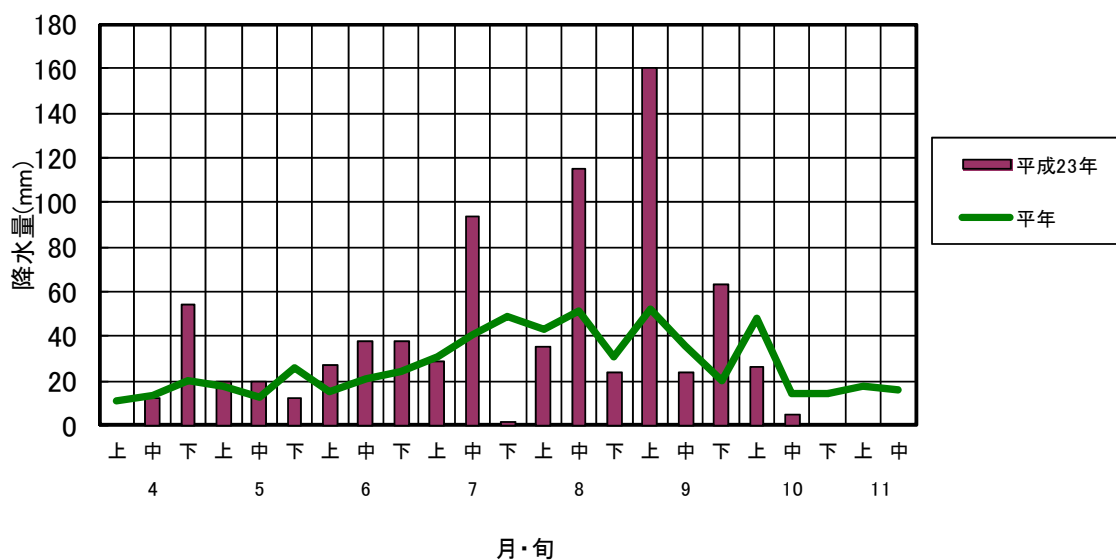
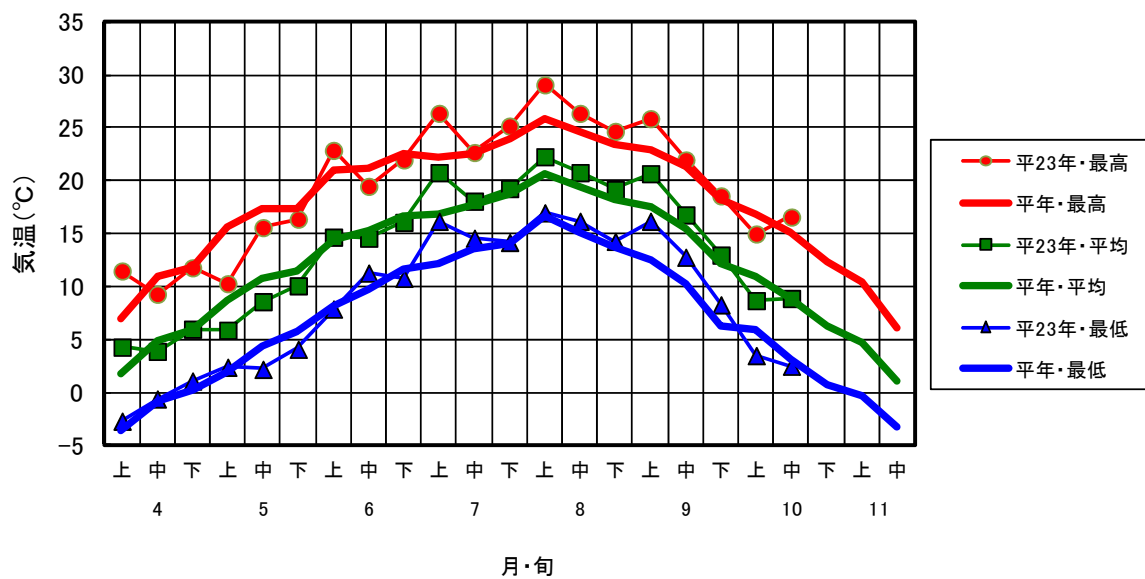
気 象 表

項目 月・旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
9月下旬	13.0	12.2	0.8	18.6	18.3	0.3	8.3	6.3	2.0
10月上旬	8.7	11.0	△ 2.3	15.0	16.9	△ 1.9	3.5	5.9	△ 2.4
10月中旬	8.9	8.9	0.0	16.6	15.1	1.5	2.5	3.2	△ 0.7

項目 月・旬	降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
9月下旬	63.0	20.5	42.5	62.0	59.0	3.0
10月上旬	26.5	48.0	△ 21.5	60.5	49.6	10.9
10月中旬	5.0	14.0	△ 9.0	66.4	55.0	11.4

注1) 観測値は、置戸町境野のアメダスデータである。

2) 平年値は前10か年間の平均である。



2. 当場の作況

注) 本作況報告は北海道立総合研究機構北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、網走管内全体を代表するものではありません。

1) とうもろこし (サイレージ用) 作 況 : 良

事 由 : 収穫期は平年より5日遅い9月26日であった。収穫時の稈長は平年より長く、収穫時の子実の熟度は黄熟初～中期と平年並で、総体の乾物率は平年並であった。乾物茎葉重は平年よりやや多く、乾物雌穂重は平年より多く、乾物総重ならびに推定TDN収量は、それぞれ平年対比110%、111%といずれも平年を上回った。

以上のことから、目下の作況は「良」である。

調査項目	チベリウス		
	本年	平年	比較
収穫期 (月, 日)	9. 26	9. 21	5
収穫時の熟度	黄熟初～中期	黄熟初～中期	-
稈長 (cm) (9月20日)	297	266	31
生総重 (kg/10a)	6957	6576	381
乾物茎葉重 (kg/10a)	971	925	46
乾物雌穂重 (kg/10a)	1142	998	144
乾物総重 (kg/10a)	2113	1923	190
同上平年比 (%)	110	100	10
推定TDN収量 (kg/10a)	1536	1387	149
同上平年比 (%)	111	100	11
総体の乾物率 (%)	30.4	29.4	1.0
乾雌穂重割合 (%)	54.1	52.0	2.1
有効雌穂割合 (%)	100.0	100.0	0.0

注) 平年値は前7か年中、平成19年(最豊)、21年(最凶)を除く5か年の平均。

2) 大豆 作況：良

事由：成熟期は平年より2日遅かった。百粒重は平年をやや下回ったが、着莢数及び一莢内粒数は平年を大きく上回り、子実重は平年比110%であった。

以上のことから、目下の作況は「良」である。

調査項目	ユキホマレ		
	本年	平年	比較
成熟期 (月.日)	9.26	9.24	2
着莢数(個/株) (成熟期)	87.7	70.2	17.5
一莢内粒数	2.11	1.78	0.33
子実重(kg/10a)	425	386	39
同上平年比 (%)	110	100	10
百粒重 (g)	33.4	35.4	△2.0
屑粒率 (%)	1.8	1.4	0.4

注1) 平年値は前7か年中、平成17年(最豊)、21年(最凶)を除く5か年の平均。

2) 子実重と百粒重は水分15%換算。

3) 小豆 作況：やや良

事由：一莢内粒数は平年並、百粒重は平年を下回ったが、着莢数が平年を大きく上回ったため、子実重は「サホロシヨウズ」が平年比107%、「エリモシヨウズ」は同104%であった。

以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

調査項目	サホロシヨウズ			エリモシヨウズ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
着莢数(個/株) (成熟期)	73.7	60.4	13.3	75.4	58.1	17.3
一莢内粒数	5.70	5.56	0.14	6.36	6.55	△0.19
子実重(kg/10a)	434	404	30	471	453	18
同上平年比 (%)	107	100	7	104	100	4
百粒重 (g)	13.9	15.3	△1.4	13.4	14.9	△1.5
屑粒率 (%)	3.6	2.3	1.3	0.9	2.8	△1.9

注1) 平年値は前7か年中、平成19年(最凶)、20年(最豊)を除く5か年の平均。

2) 子実重と百粒重は水分15%換算。

4) 菜豆 作況：良

事由：百粒重は平年をやや下回ったが、一莢内粒数は平年よりやや多く、着莢数は平年を大きく上回った。その結果、子実重は平年比 118%であった。

以上のことから、目下の作況は「良」である。

調査項目	大正金時		
	本年	平年	比較
着莢数(個/株) (成熟期)	26.4	20.2	6.2
一莢内粒数	3.37	3.11	0.26
子実重(kg/10a)	408	345	63
同上平年比 (%)	118	100	18
百粒重 (g)	67.8	73.4	△5.6
屑粒率 (%)	3.2	5.0	△1.8

注1) 平年値は前7か年中、平成19年(最凶)、22年(最豊)を除く5か年の平均。

2) 子実重と百粒重は水分15%換算。

5) ばれいしょ 作況：やや良

事由：「コナフブキ」は、9月が高温多雨に経過したため枯ちょうの進みが遅くなり、枯ちょう期は平年より8日遅い10月10日であった。上いも数、上いも平均重が平年並だったことから上いも重は平年並だったが、でん粉価は平年よりやや高かったため、でん粉重は平年をやや上回った。

以上のことから、前報の「男爵薯」と併せ、目下の作況は「やや良」である。

調査項目	コナフブキ		
	本年	平年	比較
枯ちょう期 (月・日)	10.10	10.2	8
上いも数(個/株)	9.6	9.9	△0.3
上いも平均重(g)	116	111	5
上いも重(kg/10a)	4958	4901	57
同上平年比 (%)	101	100	1
でん粉価(%)	22.0	21.2	0.8
でん粉重(kg/10a)	1041	990	51
同上平年比 (%)	105	100	5

注) 平年値は前7か年中、平成15(最凶)、17年(最豊)を除く5か年の平均

6) てんさい

作 況：平年並

事 由：収穫は平年並の10月20日に行った。茎葉重は、移植栽培では平年を下回り、直播栽培では平年を上回った。根重は平年を上回った。根中糖分は、10月上旬から中旬にかけて、降水量が平年より少なく、日照時間がやや多かったことから、平年との差は前報より縮まったものの、平年より約1ポイント下回った。移植栽培の根重は、2品種平均で平年対比107%、根中糖分は94%、糖量は101%であった。直播栽培の根重は平年対比107%、根中糖分は94%、糖量は100%であった。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	移植						直播		
	モノホマレ			アーベント			モノホマレ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
茎葉重 (kg/10a) (10月20日)	3,867	5,897	△2,030	4,742	5,990	△1,248	6,963	5,594	1,369
根重 (kg/10a) (10月20日)	7,353	6,843	510	7,659	7,164	495	6,129	5,740	389
根中糖分 (%) (10月20日)	16.44	17.52	△1.08	17.02	17.90	△0.88	16.46	17.54	△1.08
糖量 (kg/10a) (10月20日)	1,208	1,199	9	1,304	1,294	10	1,008	1,005	3

注) 平年値は前7か年中、平成17年(最豊)、22年(最凶)を除く5か年の平均。

7) 牧草(チモシー)

作況:良

事由:3番草の収穫は平年より2日遅い10月6日に行った。3番草の生育期間である8月中旬以降は気温が高く、降水量も多かったため、草丈は平年を下回ったが、乾物収量は平年対比106%とやや多かった。1~3番草の合計乾物収量は平年対比110%と平年を上回った。

以上のことから、目下の作況は「良」である。

調査項目		ノサップ		
		本年	平年	比較
刈取日(月.日)	3番草	10.6	10.4	2
病害罹病程度	3番草	4.0	4.1	△0.1
草丈(cm)	3番草	42	48	△6
生草収量(kg/10a)	3番草	799	508	291
	1~3番草合計	5490	4033	1457
乾物率(%)	3番草	21.0	31.4	△10.4
乾物収量(kg/10a)	3番草	168	159	9
	1~3番草合計	1056	957	99
同上平年比(%)	3番草	106	100	6
	1~3番草合計	110	100	10

注1) 平年値は前7か年中、平成16年(最豊)、21年(最凶)を除く5か年の平均。

2) 病害罹病程度は、1:無または微~9:甚。病害は主に斑点病。